

発信日： 2013年12月2日

「Russell/Nomura 日本株インデックス」年次銘柄入替

Russell/Nomura Total Market インデックスへの初めての組入れは 41 件に

ラッセル・インベストメントと野村証券はこの度、Russell/Nomura 日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額（浮動株調整済み）の98%をカバーする Russell/Nomura Total Market インデックスに、41 銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村証券金融工学研究センターのウェブサイト (<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>) をご覧ください。

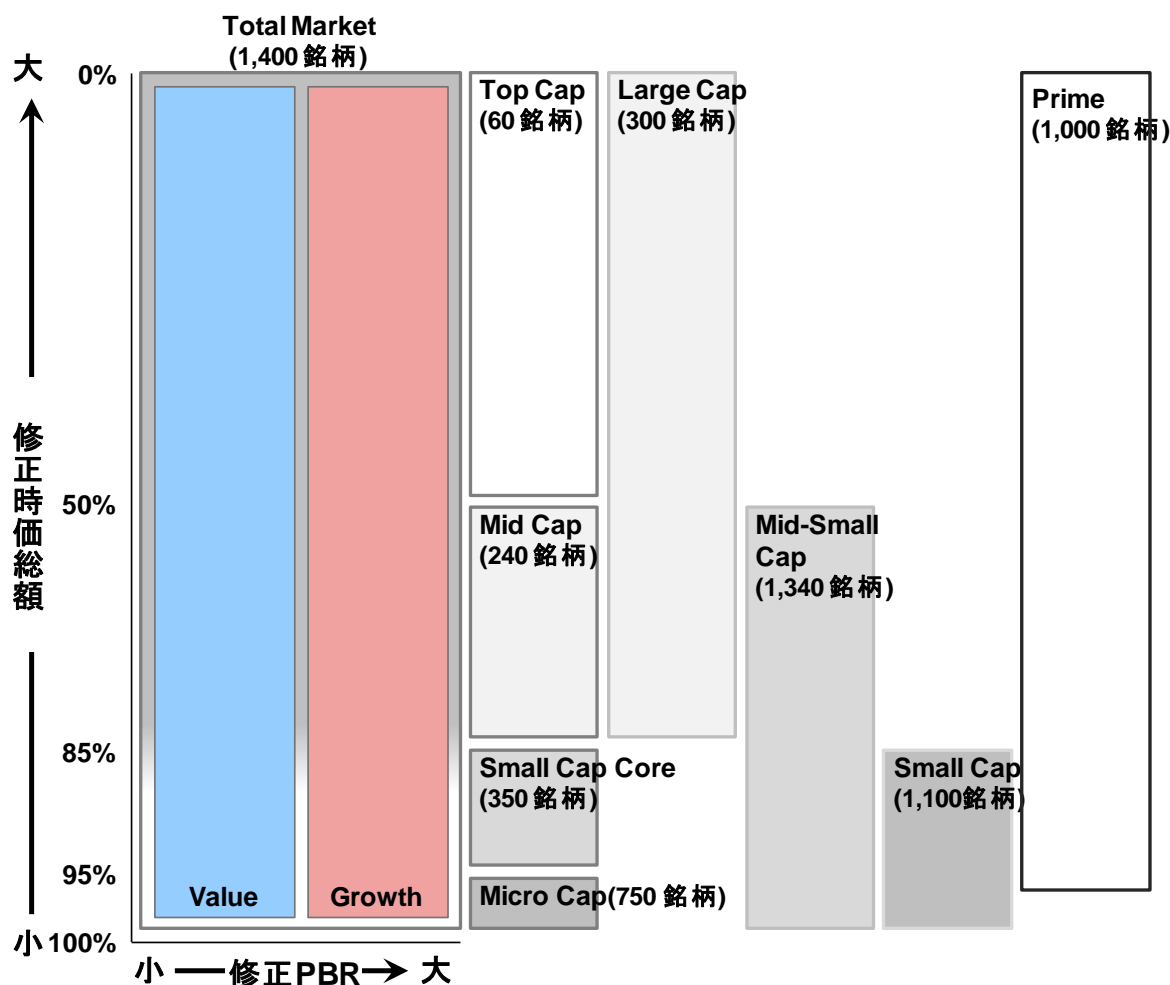
株価上昇に伴い指数全体の構成銘柄数が減少

今回の入替により、Russell/Nomura Total Market インデックスは全体で 81 銘柄減少し 1,400 銘柄となりました。165 銘柄が除外され、84 銘柄が組入れられる中で 41 銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は 281.1 兆円から 284.7 兆円とわずかに増加しました（2013年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み）。

スタイル別インデックスに目を向けると、Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の上位 85%で構成される Large Cap インデックスの構成銘柄は 49 銘柄減少し 300 銘柄となり、加えて Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額の下位 15%で構成される Small Cap インデックスの構成銘柄も 32 銘柄減少し 1,100 銘柄となりました（図表1）。

バリュー、グロースインデックスにつきましては、Total Value インデックスの構成銘柄は 211 銘柄が除外となり 108 銘柄が組入れられ、Total Growth インデックスの構成銘柄は 183 銘柄が除外され、169 銘柄が組入れられました。Total Value インデックスと Total Growth インデックスの時価総額回転率はそれぞれ 15.8%、16.4%となり（図表2）、昨年を上回るものの計算開始以来過去 33 年間の平均よりは低い数値となりました。業種別では、「医薬品」、「保険業」、「食料品」セクターでバリューへの比重の増加、「輸送用機器」、「証券、商品先物取引業」、「サービス業」のセクターでグロースへの比重の増加が見られました（図表3）。

図表1 Russell/Nomura 日本株インデックスの体系



(注) 2013年12月定期入替後。

図表2 2013年12月定期入替サマリー

	採用銘柄数						時価構成比率			回転率 (片側)
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差		
Total	1,481	1,400	-81	165	84	100.00%	100.00%	-	1.6%	
Value	1,146	1,043	-103	211	108	49.99%	50.29%	0.31%	15.8%	
Growth	700	686	-14	183	169	50.01%	49.71%	-0.31%	16.4%	
Large	349	300	-49	58	9	86.36%	84.28%	-2.07%	3.2%	
Value	218	194	-24	56	32	40.41%	40.16%	-0.25%	17.9%	
Growth	238	197	-41	66	25	45.94%	44.12%	-1.82%	17.3%	
Small	1,132	1,100	-32	173	141	13.64%	15.72%	2.07%	20.0%	
Value	928	849	-79	195	116	9.57%	10.13%	0.56%	23.3%	
Growth	462	489	27	153	180	4.07%	5.58%	1.51%	42.3%	
Prime	990	1,000	10	48	58	97.67%	98.10%	0.43%	1.8%	
Value	740	741	1	89	90	48.34%	49.01%	0.67%	15.9%	
Growth	521	522	1	113	114	49.33%	49.09%	-0.24%	16.5%	

(注) 構成銘柄は定期入替日時点。時価構成比率の計算は2013年10月15日の株価による。

回転率は「Σ | 入替前時価比率 - 入替後時価比率 | / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomura スタイル指数の業種別時価総額ウェイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.1%	-0.1%	-	-	0.2%	-0.8%
鉱業	0.0%	0.0%	-0.1%	-	0.3%	0.1%
建設業	-0.1%	0.1%	-0.1%	0.1%	-0.3%	-0.4%
食料品	1.2%	-0.8%	1.2%	-0.9%	1.0%	1.1%
繊維製品	0.3%	-0.4%	0.4%	-0.4%	0.1%	-0.2%
パルプ・紙	0.0%	0.0%	0.0%	-	-0.1%	-0.1%
化学	0.7%	-0.9%	0.7%	-1.0%	0.9%	0.3%
医薬品	1.6%	-1.6%	1.8%	-1.6%	0.7%	-0.8%
石油・石炭製品	-0.1%	0.1%	-0.2%	0.1%	0.4%	-
ゴム製品	0.1%	-0.2%	0.2%	-0.1%	-0.1%	0.1%
ガラス・土石製品	-0.2%	0.2%	-0.4%	0.3%	0.4%	-0.2%
鉄鋼	-0.3%	0.3%	-0.5%	0.3%	0.2%	0.2%
非鉄金属	0.1%	-0.1%	-0.1%	-0.1%	0.7%	-0.2%
金属製品	0.1%	-0.1%	0.1%	-0.2%	-0.1%	0.7%
機械	-0.5%	0.6%	-0.1%	0.5%	-2.0%	1.4%
電気機器	-1.0%	0.8%	-1.1%	1.1%	-0.9%	0.6%
輸送用機器	-3.5%	4.0%	-4.3%	4.8%	-0.2%	1.1%
精密機器	0.2%	-0.1%	0.1%	-0.1%	0.6%	-0.7%
その他製品	0.7%	-0.7%	0.9%	-0.6%	-0.2%	-1.8%
電気・ガス業	0.4%	-0.5%	0.5%	-0.5%	0.1%	-0.4%
陸運業	0.1%	-0.2%	0.1%	-0.1%	0.2%	0.4%
海運業	0.0%	0.0%	0.2%	-	-0.7%	0.2%
空運業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.5%	-0.1%
情報・通信業	0.7%	-0.8%	0.9%	-0.9%	0.0%	-0.8%
卸売業	1.0%	-1.2%	1.1%	-1.2%	0.4%	-2.4%
小売業	0.1%	-0.3%	-0.2%	-0.4%	1.3%	-3.0%
銀行業	-0.4%	0.0%	-0.7%	0.0%	1.3%	-
証券・商品先物取引業	-1.1%	1.2%	-1.1%	1.0%	-1.3%	2.2%
保険業	1.4%	-1.5%	1.8%	-1.6%	-	-0.1%
その他金融業	-0.2%	0.4%	-0.1%	0.4%	-0.7%	0.5%
不動産業	-0.8%	0.8%	-0.7%	1.0%	-1.0%	0.2%
サービス業	-0.6%	0.8%	-0.4%	0.3%	-1.7%	2.8%

(注) 2013年10月15日の株価による。水色帯は Value インデックスのウェイトが1%以上増加した業種、赤色帯は Growth インデックスのウェイトが1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Prime インデックスへの初めての組入れは33件に

Russell/Nomura Prime インデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura 日本株インデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて採用された銘柄は33銘柄となり、同インデックスの時価総額は274.6兆円から279.3兆円へとわずかに増加しています(2013年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は1.8%と、昨年に続いて低い水準となりました。

新たに採用された33銘柄のセクターを見ると「サービス業」が8銘柄、「情報通信業」が4銘柄、「小売業」、「医薬品」がそれぞれ3銘柄となり、これら4セクターで過半数を占めています。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995年、野村証券とラッセル・インベストメントは、資産運用の運用実績を測定するツールとして「Russell/Nomura 日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、浮動株修正時価総額を基準に日本の市場に上場されている普通株式で構成されています。浮動株修正時価総額上位98%の銘柄で構成される Russell/Nomura Total Market インデックスを中心に、そのサブインデックスを含むシリーズとなっています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回12月第一営業日に構成銘柄の定期入替を実施しています。構成銘柄は、10月15日時点（休日の場合は直近営業日）の浮動株修正時価総額によって順位付けされます。

定期銘柄入替後、合併・買収やその他の事由によって当インデックスから銘柄が削除される場合においても、次回の定期銘柄入替まで補充されることはありません。従って、各インデックスへの組入れ銘柄数は、年中に変動します。臨時で追加が行われるのは、スピンオフおよび新規上場によって大幅に構成比が低下する場合にかぎります。

ラッセル・インベストメントについて

ラッセル・インベストメントグループは、年金、金融機関および個人投資家など様々な投資家の皆様を対象に総合的な資産運用サービスを提供しています。運用会社調査、資産運用、オルタナティブ投資、確定拠出年金、資産運用コンサルティング、運用執行、株式インデックスの開発など、提供サービスは多岐にわたります。ラッセルは、これら複数の運用サービスを組み合わせ、ポートフォリオレベルで投資家のニーズにお応えするマルチ・アセット・ソリューションをご提供しています。ラッセルのマルチ・アセット・ソリューションは、ポートフォリオ全体を俯瞰しながら、運用戦略をつぶさに分析することで、より多くの投資機会を発掘し、高い柔軟性とさらなる分散効果の向上を目指して構築されています。

グループの創立は1936年。米国ワシントン州シアトルを本拠地とし、運用資産総額は約24兆円※です。米国の大手生命保険相互会社であるノースウェスタン・ミューチュアル・ライフ・インシュアランス・カンパニーの子会社です。

日本においては1986年に東京オフィスを開設。現在、ラッセル・インベストメント株式会社を通じて各種サービスを提供しています。詳しくは www.russell.com/jpii をご覧ください。

野村証券株式会社について

野村証券株式会社は、野村ホールディングス株式会社を持株会社とする金融サービスグループ「野村グループ」のコア業務である証券業務を担う中核会社です。国内で展開する本支店数は176（2013年11月30日現在）。野村証券に関するより詳細な情報は <http://www.nomura.co.jp/> をご覧ください。なお、「野村グループ」に関するIR情報やニュースリリースなどは、野村ホールディングスのサイト <http://www.nomura.com/jp/> にて掲載しております。

お問い合わせ先:

ラッセル・インベストメント

【米国窓口】

Russell Investments
Public Relations
TEL: +1-206-505-1858
E-mail: newsroom@russell.com

【日本窓口】

ラッセル・インベストメント株式会社
マーケティング&コミュニケーション部
TEL: 03-5411-3790
Email: Tokyo-RIJ@russell.com

野村証券株式会社 金融工学研究センター
クオンツ・リサーチ部
インデックス・プロダクツ・グループ
TEL: 03-6703-3986
E-mail: idx_mgr@frc.nomura.co.jp